

今月の指導(5月)

初等教育研究所 加藤 良子



評価の規準を意識していますか？
—学期末、学年末に慌てないために—

(1) 評価についての基礎知識を身に付けよう！

経験が浅い先生方、新規採用の先生方は、今の時期はとにかく目の前の仕事、明日の授業に追われていることだと思います。単元の指導計画や1時間ごとの授業のめあては分からなくてはやっていけないので、学年の先生に聞いたり指導書その他で理解したりしながら授業の準備をしていると思います。

しかし、評価についてはどうでしょうか。「評価規準」・・・言葉は知っているけど・・・、「通知票」・・・テストに頼って何とか・・・、「指導要録」・・・はるか先のこと・・・と考えている先生はいませんか。そんな先生の理解の助けになればと思い、去年は7月に評価のことをお話ししましたが、今年度は早めに取り上げることにしました。

それからもう一つ。今回はうれしいリアクションがありましたので、最後に紹介します。このコーナー「今月の指導4月」で紹介した、6年生の歴史の導入の授業をした先生から、子どもたちの授業後の感想を一覧表にして送っていただきました。その中からいくつかをお伝えします。

① 評価の観点、評価の規準って何ですか？

たぶん、所属している各学校、または区市で各教科の単元毎の評価規準を作成していると思います。それを見せてもらってください。ここでは、私が昨年度作成した試案(3 学年 1 学期)を例に説明します。

Aの **評価の観点**とは、学習指導要領に示された**学力を評価するための観点**で、次の四つに整理されています。「**関心・意欲・態度**」「**思考・判断・表現**」「**技能**」及び「**知識・理解**」の4観点です。教科ごとの特性があるため、各観点を言い方は違ってきますが、どの教科においても、「・・・**基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力**その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことに努めること・・・」(学習指導要領総則より)という主旨は同じです。**言語活動の重視**もどの教科にも共通しています。社会科では、指導要録に示されているように、「**社会的事象への関心・意欲・態度**」「**社会的な思考・判断・表現**」「**観察・資料活用の技能**」「**社会的事象についての知識・理解**」の4観点です。この表では、上から4観点に対応していて、学習のねらいと連動しています。ですからそのまま通知票の言葉にしている学校も多いと思います。

第3学年

A

B

C

学期	評価の観点（通知表文言）	主な学習内容（単元名）	評価の規 準	評価の場面・方法
1 学 期	身近な地域や☆区の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のまわりのようす ・☆区・市のようす 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校の周りの地域や☆区・市の様子に関心をもち意欲的に調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、ノート ・見学や体験活動の様子
	身近な地域や地域社会の出来事の特徴や相互の関連などについて考え、判断したことを適切に表現している。		<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校の周りの地域や☆区・市の様子から学習問題をつくり、考えたことを述べたり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・新聞などの作品
	地域の様子を的確に観察、調査したり、地図や具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集めまとめている。		<ul style="list-style-type: none"> ・（身近な地域や☆区・市の様子など）的確に観察、見学したり具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを絵地図や作品などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵地図 ・新聞などの作品
	身近な地域や☆区・市の様子について理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・まち探検で調べた地域や☆区・市の様子は、場所によって違いがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ワークテスト他

Bの **評価の規準**とは、**学習のねらいに対して、学習の状況がどのようになっているればよいかを具体的に示したものです**。ここに示しているものは、1学期をまとめたものなので、**単元毎に設定したものならばもっと具体的に書かれています**。評価の規準を決めたら、そのような状況に子どもたちをするには、どんな学習をすればよいか、生き生きと楽しい学習を進めるためにはどんな準備をすればよいかを考えてみてください。

② 評価の場面や、評価の方法は？

日々の学習指導で、あまりに「評価すること」ばかりにとらわれてしまうと、全体に目が行き届かなくなったり、記録ばかりしていて子どもから目が離れてしまったりしてしまいます。それでは疲れるばかりで何もなりません。ですから、「どの場面を評価しようか」とか「この活動は必ず評価する」と決めておく必要があります。場面が決まったら、どんな方法で評価するのが一番自分にとっても子どもにとってもよいかを考えてみてください。例えば、町探検に出かけるときは、探検バックにワークシートをはさんでいくと思います。活動中は、先生は、子どもたちが安全に神経を集中させなければなりません。ですから、帰ってきてからワークシートやノートに書いたことから、「関心・意欲・態度」や「思考・判断」の評価をします。その後、町探検で観察したり調べたりし

たことを、何らかの方法でまとめると思います。そのまとめは評価の資料になります。

新聞形式は記録が残りますが、発表形式の場合は、発表聞きながら記録を取っていかないと記憶があいまいになってしまいます。また、発表に至るまでの子どもの様子は、気になったことだけでも記録に残しておく、後で大変役に立つことがあります。自分だけが分かる簡単な記号でよいので、評価記録簿（私は児童名簿を工夫した自作のものでした。）に残しておいてください。

上記の表 **C** は、あくまでも参考程度です。自分が考えている学習活動や子どもの実態に合わせて様々な方法を考えて、子どもにとって授業が楽しくなるように工夫してください。

③ 一人一人を評価するために

グループで作品を作る場合の配慮点です。

- ・人数はあまり多くしない。
- ・必ず記事や説明を分担する。
- ・分担した記事には必ず名前を書かせる。

人数が多いと何も
しない子や共通理解
ができていない子
が出てしまうことが
往々にしてあります。
注意しましょう。



あれっ、と気がつく
と絵を描くだけとか、
司会のような役を
するだけの子が出て
しまうことがあります。
それぞれが、何を
調べて何の記事を
分担するのかを必ず
確認しましょう。

大きな模造紙を使う
場合は、それぞれ別
々の用紙に記事を書
き、それらを貼るよ
うにします。そうす
れば同時に作業がで
きますよ。自分の記
事には必ず署名をす
るようになっています。
誰が書いた記事かす
ぐ分かって評価がし
やすいです。



社会でも言語活動は
重視されています。国
語で学んだ「相手に
伝える話し方」で話
せることが大切です。
伝える内容をよく理
解して言っているか、
分かりやすく伝えて
いるか、自分の調べ
たことだけではなく、
自分の考えを述べて
いるかなどを評価し
ます。



基になっている資料
は何か、調べたこと
(見学で分かったこと、
聞いた話、本やパンフ
レットの内容)を理解し
ているか、自分なりに
工夫して描いたり、文
章にまとめたりして
いるか、自分の考えを
書いているかなど、
評価のポイントはた
くさんあります。

(2) 参考資料

3年生1学期の「評価の観点」とそれに対応した「評価の規準」は、(1)で示した通りですが、4年生、5年生、6年生(それぞれ1学期)についても参考までにご覧ください。昨年度作成した私の試案です。

第4学年

★東京都副読本及び各区市の副読本を活用

学期	評価の観点(通知表文言)	主な学習内容(単元名)	評価の規準	評価の場面・方法
1 学 期	地域の人々の健康な生活や安全を守る諸活動に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・火事を防ぐ ☆ ・警察のしごと ☆ ・暮らしを支える水 ☆ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における災害や事故の防止のための諸活動に関心をもち、意欲的に調べている。 ・暮らしを支えている水の確保やゆくえ関心をもち、意欲的に調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、ノート ・資料の準備の様子 ・見学や体験活動の様子
	社会生活を守るために働いている人々の工夫や努力について考え、判断したことを適切に表現している。		<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会における災害や事故の防止のための諸活動の様子や暮らしを支える水にかかわる対策や事業の様子から学習問題をつくり、考えたことを述べたり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・新聞などの作品
	社会生活を守るための諸活動を的確に観察、調査したり、地図や各種の資料を活用したりして、必要な情報を集めまとめている。		<ul style="list-style-type: none"> ・(家庭、学校、消防団、消防署、水道キャラバンなど)的確に見学、取材、体験したり具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを白地図や作品などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白地図 ・新聞などの作品
	地域の人々の健康な生活や安全を守る諸活動、地域の発展に尽くした先人の働き、東京都の様子について理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・人々の安全を守るための関係諸機関(消防署、警察署)の働きとそこに従事している人々や地域の人々(家庭、学校、消防団など)の工夫や努力を理解している。 ・暮らしを支える水にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活に役立っていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ワークテスト他

第5学年

※単元名は教科書「東京書籍版」より

学期	評価の観点(通知表文言)	主な学習内容(単元名)	評価の規準	評価の場面・方法
1 学 期	わが国の国土と産業(食料生産)の様子について関心をもち意欲的に調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の国土 ・国土の地形の特色 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の国土の自然などの様子や米の生産の様子に関心をもち、資料の収集や準備、読み取りを意欲的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言、ノート ・資料の準備の様子
	わが国の国土と産業(食料生産)の様子について、課題を追究し、その意味について考え、判断したことを的確に表現している。	<ul style="list-style-type: none"> と人々の暮らし ・国土の気候の特色 と人々の暮らし ・米づくりのさかんな庄内平野 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の国土の自然などの様子や米の生産の様子から学習問題をつくり、考えたことを述べたり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・新聞などの作品

	社会的事象を的確に調査したり、各種の基礎的な資料を活用したりして、必要な情報を読み取ったりまとめたりしている。		<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地球儀、統計、その他の基礎的な資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを白地図や作品などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白地図 ・新聞などの作品
	わが国の国土と産業の様子、国土の環境や産業と国民生活との関連を理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、わが国の位置と領土、国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を理解している。 ・米の生産が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていること、米の生産は自然環境と深いかかわりをもって営まれていること、生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ワークテスト他

第6学年

※単元名は教科書「東京書籍版」より

学期	評価の観点(通知表文言)	主な学習内容(単元名)	評価の規準	評価の場面・方法
1 学 期	わが国の歴史に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文の村から古墳のくにへ ・天皇中心のくにづくり ・武士の世の中へ ・今に伝わる室町文化 ・戦国の世から江戸の世へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の人物や文化遺産に関心をもち、資料の収集や準備、読み取りを意欲的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ノート ・資料の準備の様子
	わが国の歴史について、課題を追究し、その意味について考え、判断したことを適切に表現している。		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の主な人物の働きや代表的な文化遺産から学習問題をつくり、考えたことを述べたり書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・ワークシート ・歴史新聞などの作品
	社会的事象を的確に調査したり、各種の基礎的な資料を活用したりして、必要な情報を読み取ったりまとめたりしている。		<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡や文化財、地図や年表その他の資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。 ・調べたことを白地図や年表、作品などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白地図・年表 ・歴史新聞などの作品
	わが国の先人の業績や文化遺産について理解している。		<ul style="list-style-type: none"> ・大和朝廷による国土の統一の様子、天皇中心とした政治が確立されたこと、武士による政治が始まったこと、室町文化が生まれたこと、戦国の世が統一され、身分制度が確立し、武士による政治が安定したことが分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ワークテスト他

昨年7月にも評価のことを取り上げ、適切な評価が子どもを伸ばすことをお伝えしました。子どもの課題、例えば「自分の考えを書ける子」にしたければ、考える場面があるような学習を組み立て、ノート等に考えを書く機会を意図的につくります。初めは少ししか書けない子も先生のコメントに励まされながら少しずつ書ける量が増え、内容も充実していきます。つまり、**指導と評価は一体なのです。**ワークテストはほとんどの先生が採用している優れた評価の方法だと思います。しかし、それのみに頼ることなく、子どもの学習している姿、ノート、作品等と組み合わせて、4観点を適切に評価してください。

学期末になってから「あの場面の記録を残しておけばよかった。」などと後悔しないように、学期の初め、単元の始まりに評価の規準をしっかりと捉え、意識して、学習の計画、評価の計画を立ててください。



(3) **うれしいリアクション**

3月末に初等教育研究所主催の「若い先生の為の授業開き講座」に参加されたY先生からのお便りです。私が紹介したとおりに歴史の導入の授業をしてくださったそうです。

(今月の指導4月で紹介したものと同じ) その授業後、子どもたちが書いた感想を知らせてくださいました。全員ではありませんが紹介します。ありがとうございました。

時代の長さが正確に分かった。でも、今からなんですと昔のことが分かるのだろうか。	100年を1cmとして、それを図に表したので、どの時代が長いかわかりました。	「どの時代はこのくらい長い」ということを学習した。縄文時代が一番長いということが分かった。今度は、どのような生活をしているかを知ってまとめてみたい。	
歴史の時代で、縄文、弥生の長さがすごくてびっくりしました。時代の名前や長さの線を黒板に貼ってくれてすごく分かりやすかったです。	今日の社会でいろいろな時代があることが分かりました。これからは、人物の名前などを一生けんめい覚えたいです。	昔の人がどんな暮らしをしていたか、とても知りたくなりました。歴史は苦手なので、新しいことなどを覚えて得意になりたいです。	思ったより昔の時代の方が長くてびっくりしました。塾でやったので同じようなものかと思っていましたが、ゆっくりやるので深く学べそうです。
縄文時代がそんなに長いとは知りませんでした。最近になるほど時代が短いのは、いろいろな文化が進んできて、戦いが多くなったからだだと思います。実際の線で、時代の長さを見たのは初めてだったので、8000年の長さが分かった気がします。歴史、とても楽しそうだと思います。			